



はじめて掛時計を設置される方に

アンティーク掛時計をご購入いただきありがとうございます。

本書では、初めてアンティーク掛時計を楽しまれる方に、初歩的な取扱い事項を説明しており、簡単なながら時計メーカーが用意する取扱い説明書代わりとしてご参考になさってください。

[古時計取り扱いの心得]

日本で古時計を製造し始めた明治中期の古時計の値段は家一軒購入できる金額で販売されており、現在の車と同様、年に一度は点検に出していたほど高価なものでした。

家庭で使用される古時計は、機械が単純なため100年以上経過しても正確に動くものもありますが、機械の部品も摩擦で消耗しているため、長年維持するためには手入れや修理が必要になり、身近で古時計を修理していただける方を探しておくことをお勧めします。

1) 移動

1. 掛時計の移動 振り子をはずして移動し、時計を掛けてから振り子を取り付けてください。

2) 時計の掛け方

1. 釘やネジの取付 釘やネジは斜めに壁に取付け、前方に時計がズレないようにします。
2. 時計の掛け方 時計の背面がぴったり壁に接するように取り付けてください。
3. 振り子を取り付ける 時計が掛け終わってから振り子を取り付けてください。

3) 時計の傾き調整

1. 左右の調整 時計の下部を左右に傾け、振り子の音が「チクタク」とリズムカルに動く位置を探しケース(時計の箱)を固定します。
※傾きはゼンマイを巻くときなどでカンタンに動きます。傾きの位置を保つためには、印や金物を取り付けると便利です。
2. 前後の調整 時計の下部を前後に振り、振り子が止まらない位置を探し、木などを飼います。
※バルサ板を重ねボンドで貼り合わせれば、0.5mm厚単位で飼木ができます。
※出荷時にバルサ板を同梱している場合もありますが再調整してください。

4) 時間の調整

時間の調整は、振り子下部のネジで行います。

1. 時間を進める ネジを右に回し振り子の位置を上げます。
2. 時間を遅らす ネジを左に回し振り子の位置を下げます。
3. ご注意 短い針のみを単独に廻しますと時打ちの打数が狂います。

5) アンティーク掛時計の取扱い参考サイト

1. ホームページ 掛時計の取扱いやお手入れ、簡単な補修方法は、ホームページに掲載していますのでご参考になさってください。
掲載URL <http://kominka.yanoss.jp/> → 古時計 → 調整と手入れ

6) 質疑事項

初歩的な質疑は下記の方法にてお答えしております。

1. 「Q&A」コーナー 取扱いに関する初歩的な、よくあるご質問
掲載URL <http://kominka.yanoss.jp/> → 古時計 → Q&A
2. メールにて 取扱いなどに関する初歩的なご質問がありましたらメールでご連絡ください。
お調べでき次第「Q&A」コーナーに掲載していきます。